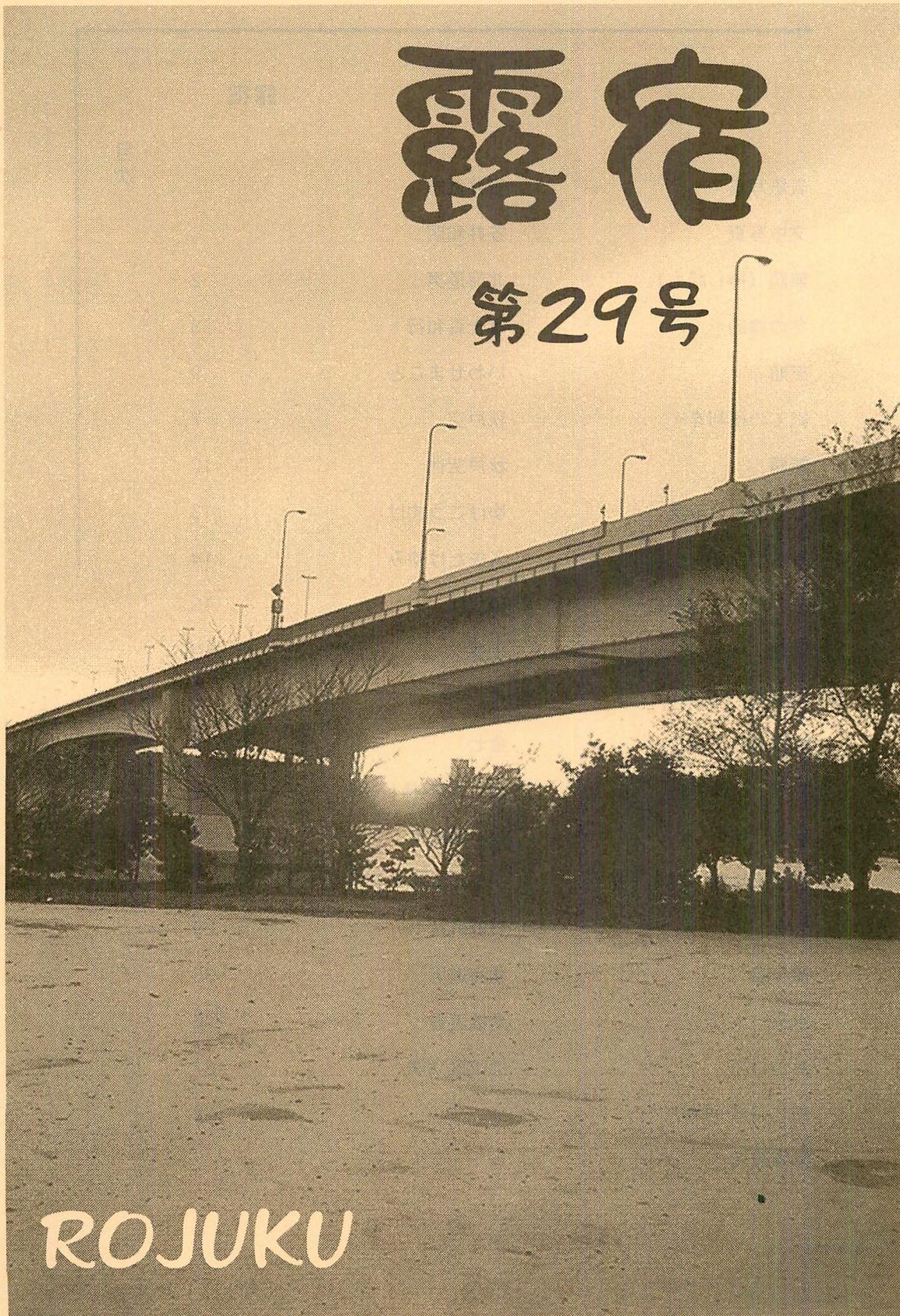


露宿

第29号

ROJUKU



露宿

目次

表紙写真	石井武志	
文中写真	笠井和明	
無題（挿し絵も）	北海道男	2
冬の標的	富士森和行	3
無題	いわせまこと	9
総ての権利を…	秋戸空	7
無題	秋戸空他	12
しのぶという女	ゆげこうすけ	13
みちのくの女	入矢たけゆみ	14
あなたの心の中に…	田代猛	15
無題	宗春	18
「2004年1月1日」	K	
地獄のラブレター	金七	19
歌集 マルキ舟	望月大成(挿し絵も)	23
新春三句!!	鈴木城頭土	27
平成・後期・突入・初感	ジキル&ハイド	
今日一日	只野酔払	29
挿し絵	北海道男	35
水道町より	高橋美香	36
あかい花	はり師いが丸	37
創刊の辞(再掲)		38
編集後記		

— 冬の標的 —

拾五首詠

富士森 和行

冬川の底歩るき居る鴨らの姿も亦路上の人間に重なる

(1/10 中野坂上近く神田川にて)

この川に矢がも見たるも杳かとなりて拙く生きしわが原点よ

懐しき支援の友らと遇へばいつか居酒屋に想い出の話盛りぬ

底辺の路上に寄託せるものらも聴て消さるゝか社会的ターゲット

寒猫のひと夜騒しきわが窓にみぞれとなりて明けし朝あり

自由労働者と云ふ語期せずしてホームレスにオーバーラップして見ゆ

小雪舞ふ夕べ新宿の街ゆけばおのずから見ゆわが最終の道



冬牡丹うつすら菰こもに雪ゆき載りてむかし乙女の朱唇しゆしんの凛々りんりんし

小春日こはるひの光ひはステンドグラス透すきて炎もゆ神の祈りへ冬の標的

(1/18 淀橋教会礼拝にて)

この年も苦しき影の見え初そめてわれの余生の春はいづくに

思い出おもひだは尠すくなからずも残りつゝ、吾れに還かへらぬ日々となりゆく

エアコンの音のみ寒ひやぞらに響ひびきおりこの朝の窓次第に晴るゝか

(1/19 山谷黎明館の一間にて)

幾枚か愁しゆひを叙じよして成らざりし稿紙裂さきおり啄木想ふ

水草すいそうも藻もも無なき町の川に来て鴨から隠かくれ棲すむ寂さびしき限り

テロの標的に遇ふなと川に眼をやるに無謀むぼうなる獵師ハンターは身近に

無謀

1/19 山谷黎明館に起稿了



無題

嫁持ちの夢を親方にあざけられ

怒りふつつ便所で手淫す

持てるもの何もなく去年今年

飯場に残りし借金二万

痛む足地下足袋の上からさすりつつ

技師の指図の鉄骨運ぶ

ゼニ求め飯場渡世のアリ地ごく

手持ちの金は三百五円

アホの如あしらい慣れし吾ならば

親方の娘にも「ハイ」と答える



あぶれ日や地下足袋先つくろい冬隣

日傭の穴あき足袋や寒土踏む

峡飯場朝の焚火の艶話

股ぐらに七りんはさみ梅見酒

極寒や地下足袋の底よりのぼり来る

凍て土に人夫の気がいッルを打つ

雪解泥面にあびつつスコふるう

春の雪ダムの足場のおぼつかず

足袋コハゼきりりとしめて初仕事

寒の雪故郷はいづこか酒酔れる

すがるもの何もなければ春うらら

あご先で指示され生きるも春うらら

極寒や小銭集めてワンカップ

女人夫の腰たくましや寒土掘る

人夫みな無口となりて寒現場

雪あぶれ足を腫らしてまたあぶれ

ツヤ話次第にほらめく寒飯場

夕焚火地下足袋裏あぶりつ立飲みす

しぐれ雪作業着重くスコ握る

いわせ まこと

総ての権利を奪われ (先住民族) に対する差別構造

03 12 8 秋 戸 空

私がここで言うのは

この世の中で云う〈法〉の権利ではなく
それは一人の人間としての〈法〉によって無視されず
生きて、行ける権利のことなのである

今の世の中で云われている

〈グローバルゼイション〉と云われる

異質の現象は

資本主義と云われる政策(政治)が始まった頃から

(民主主義)を公然と喰らい殺して

しまっていたのだ

今は〈民主主義〉は何処にもない

この状態は政府の行なう政治という

行ないは

〈金融権力〉と〈政治権力〉と野合(癒着)して

〈税もはらわず〉これを合法化

させてしまうのだ

〈金融権力〉は悪い金儲け〈グローバルゼイション〉

と云う政策をも合法化させてしまうのだ

その癖あらゆるメディアを掻き集め

(税を払わされている大衆)

〈金融権力〉の力でそれらを動かし
書かなくてよい事を書き立てて

大衆〈国民〉は関係のない処で

スポーツ・ナシヨナリズムで左右されている

それは大衆〈国民〉は政府の行なう

〈グローバルゼイション〉は

先進国なのだからあたり前だ!と

思わされている

街では214人の億万長者と云う

幻想をやかましくまきちらしている

214人の億万長者が出現してくれば

大衆は救われるとでも思っているのか……?

それは路上生活者をどのくらい排出するのだろうか

ここでもマスメディアの垂れ流す嘘の

〈大衆を操る〉情報をそのまま飲み込んでしまう

大衆の愚かしい側面でもあろう

こういう状況を取りまとめ

〈グローバルゼイション〉が

〈金融権力〉によって実践されているのだ

こう云う社会状況が社会の裡（なか）に

ある間（あいだ）にはびこっている内（うち）は

世界の先住民族の・この国のアイヌ民族の

復権できるであろう可能性をも

あきらかに潰してしまうのだ！

この国においてもアイヌ民族の復権を

賭けても闘わなければならない！

それはブルジョアの議会性

（民主主義）ではなく

世界の先住民族のそしてこの国における

アイヌ民族の諸権利を我々の運動として

はつきりと要求していかなければならない！！

そして議会性ではなく真の民主主義を

我々は運動によって見つけ出さなくてはならない！

その昔、今の東北のシヤモの土地から

そこはアイヌ・モシルだった事を

歴史的事実として認めなければならぬだろう

そこにはアイヌの人々は住まわって

存在していたのだ！

この歴史的事実を明治維新政府は

〈シヤモ〉（にっ本人）の家を建て

させていたのだ

このねじまげた嘘の歴史を〈シヤモ〉の大衆にも

学校〈教育〉をしてきたのだ〈大学の教授〉を

幾人をも使って

そして〈シヤモ〉日本人は

何百万人、何千万人はいなかったにしても

何百万人のアイヌ民族はいつも簡単に

殺しつくされてしまったのだ

（江戸時代の以前から……）

北アメリカに存在し先住していた

北アメリカ・インディアンと

同じようにその地の先住民である

北アメリカ・インディアンは

排除と云う形で簡単に殺しつくされてしまったのだ

ヨーロッパから来た食糧ばぐれの

白人種のやった事は

宗教的に自分勝手に（この広く開いていた土地は

神が与えてくださった我々の土地）

と云って（先住民）を排除して（殺しつくして：

……）しまった……

現代までのうのと……

これは許されるざる歴史的事実でもある

(シヤモ)も同じく……
金儲けのじやまになる者は、殺しつくせ、とい
う論理

この日本人(シヤモ)の土地でも
アイヌ民族(先住民族)に対してのだけでなく
世界の先住民に対しての

ブルジョアジーの政治的目標は
北アメリカ合衆国もニッホン(日本)も
まったく同じ事なのであらう(グロバリゼイション)
の実践においても……

しかしアイヌ民族(世界の先住民族)の運動は
その復権の権利を賭けて・わづかな力だが
復権の運動は続けられているのだ!

この事実の事も続けられている事実の事も
視ようともしないし・視させようともしない!
現在の金融権力と政治権力Ⅱマスメディア
の許されざる嘘つきは事実を隠蔽している

このアイヌ民族の復権を賭けた運動には
・よせ場・の日雇い労働者も
アイヌ民族の運動と一緒にって権利を

主張しなくてはならない!

ある意味においてそれは、よせ場、の日雇い
労働者の、義務、なのであらう
ここで繋がってゆけば・弱き者は・助け合い
ささえ合えば

アイヌ民族及び世界の先住民族の
固有に持っている、魂、を
読み取る事も出来るようになるだろうし……
復権をめざすアイヌ民族及び

全世界の総ての先住民族は
解放と云う一つの方向に向かって
進まなければならない!!

それはブルジョア民主主義の云う
開放であってはならないのだ
それは国々によつての歴史的事実は
違うにしても

そのところを物事を水平的に考える事でも
あるだろう

善意の文明人は真に称賛すべき偽善性を發揮して……
世界においてもこの国日本人(シヤモ)においても
先住民たちの・その政府に対する反逆者を
破壊しつつし抑圧しているのだ反面
先住民に対しては恩恵を施そう(としている)

という事も付言する事も忘れない
大嘘つきのマスメディア、多くの大衆たちはこの付
言に

付き添い従ってしまふ

今、現代の社会性……

すべての事を（ごったまぜにして）まことしやかに

世の中を飛び回っているだろう

世界の先住民族・そしてアイヌ民族に対して

これらの政治的政策等を〈グローバルゼイション〉も

ふくめて実践しているにすぎないのだ

抑圧されている世界の先住民族そしてこの国の

アイヌ民族の

支配権力の支配を文化的、精神的救済に役立つと云う

口実を持って正当化してしまうのだ！

しかしこの事を〈シヤモ〉日本人によって

アイヌ民族と世界に住まっている先住民族の

生活の低下とその後退をさせてしまうだろう

その昔この国で維新政府によるその天皇制によって

公然とアイヌ民族は作物も育たない

土地に押し込められて……

その癖〈シヤモ〉の大衆たちは肥沃な

土地をアイヌ民族から略奪し

（維新政府の後押しにより……）

アイヌの民をあからさまに、民族差別を公然として

（維新政府の後押しにより……）

当たり前のようにしていたのだ！

作物も育たないガラガラの土地に押し込められた

アイヌ民族は

維新政府によってそこで作物を作れと強制されたのに

それは維新政府による恩恵（まったく嘘の教育……）

をアイヌに対して

受けさせていると〈シヤモ〉にはそう教え込んでし

まう（嘘の歴史）

事實は隠蔽されそしてアイヌ民族や世界の先住民族

は劣等民族

と云う偏見を押しつけられその偏見を世界に押し広

げて行き

〈シヤモ〉ニッホン人（日本人）と世界のブルジョ

アジーによる

彼らアイヌ民族及び世界の先住民族は

最大限の搾取の対象として

搾取を可能にしてしまったのだ……安価な労働力と

しての

この多くの利潤をもたらす先住民の搾取の利点を

放棄するブルジョアジーなど何処にもいないであろう

アイヌ民族と北アメリカの先住民である北アメリカ

インディアンも

作物も育たないガラガラ土地に追いやられ（ここで百姓をやれ）

と強制されここで百姓をしなければ追いつかないのだ

路頭に迷わなければならぬのだ

（土地をやったんだから：）恩恵をあたえた・と

（嘘の歴史）作りあげてしまう

世界のブルジョアジーやこの国の天皇とこの利潤を

手にする者たちは

アイヌ民族と世界の先住民の劣等説を

支配者たちは喜んで受け取ってしまう

（先進国の教育の悪さ）

そして嘘が真実にされてしまうのだ・・・

（マスメディアの役割：）

アイヌ民族の問題と世界の先住民の問題は

本質的に考えれば人種の問題でもあるが

そう云う問題は支配権を持つ者たちは教育権で

そう云う考えは論じられないし、無視される

だから利潤を生み出さない土地に

アイヌ民族と世界の先住民は

大資本によって作物も育たない土地に

追いこまれてしまうのだ

しかし尚更搾取の対象でも有りうるのだ

このアイヌ民族及び世界の先住民は

あらゆる処から現出してくる

大資本家達は封建制度を利用する事によって

露骨な搾取をしてくるのだ

それはケツのケバまでぬかれてしまうとはこの事なのだ

しかしこの国の江戸時代からあつた偏見と傲慢さと

横暴さは

あらゆる先住民に対しても今の時代も受け継いで

いるのだろうか



03.8.31

炊き出しの準備

始まった！カマに入れた
木灰やきぎも野菜
を用意してる

命の火を炊き出すのだ
命の火を炊くカマ
命の火を炊くカマは
をぬいしかし
もうすぐ炊かれ始める

火が入った時
命の火を炊く
カマになるのだ
命の火よ炊かれろ!!

このケダが 介えている世界
……今の政治家屋に政治を
まかせていたら

このケダは 11 なくなりは
しないだろう!!
マスコミにまかされた!!

今、炊き出しは始まった
命の火が炊き出される
カマはもう火が入った
ぼくの想いとして
友の心でセッションの想い 込めて!!
炊き出される。命の火よ!

顔、声、身体、色、音、
温、湯気、手、影、空、重み
接融を造る物
自分を造る物
心を保つ

自分の道生え大切に。
素口といけ

03.5.25

03.8.17

真夏のぼつたのに
寒い日が三日間続いた
四日目の今日も雨が降った

炊き出しの日なのに
お世。
70の心でセッションのあらわだが
しかし今日も皆んなの
食べる命の火は炊かれる
野菜をきぎを午は遅く動く
野菜がきぎまわ
命の火を炊く
カマの外に入られるのだ
命の火を炊くカマに
火が入った!

(一)
折れた翼の、はぐれ鳥
そんな気がする、この俺に、
心を寄せた、人がいる、
夜の酒場の、片隅で、
うわべで笑い、陰で泣く、
しのぶと、いう女。

挿入歌「島の船唄」

オルゴールのメロディー風
の演奏&ハミング及び合唱。

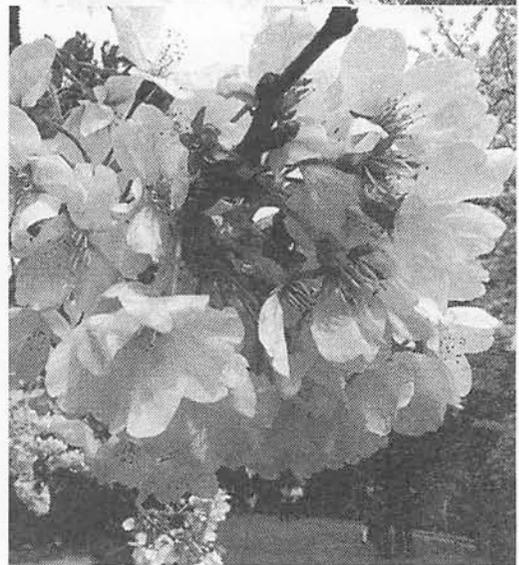
其の一
♪小鳥離れりや、レレレレレ、
レレレレレ、レレレレレ 波の上、
いつも俺等はレレレレレ、
レレレレレ、
ひとり船頭で暮らすのさ♪

しのぶという女
ゆげこうすけ

(二)

逢うも別れも、ないままの、
勝手に気ままな、この俺に、
未練を燃やす、人がいる、
島のさびれた、栈橋で、
帰らぬ人の、船を待つ、
しのぶと、いう女。

其の二
♪何が哀しゆうて、レレレレレ、
レレレレレ、レレレレレ、呼ぶのかよ、
星もきれいな、レレレレレ、
レレレレレ、
なまじ見せるな、未練気を♪

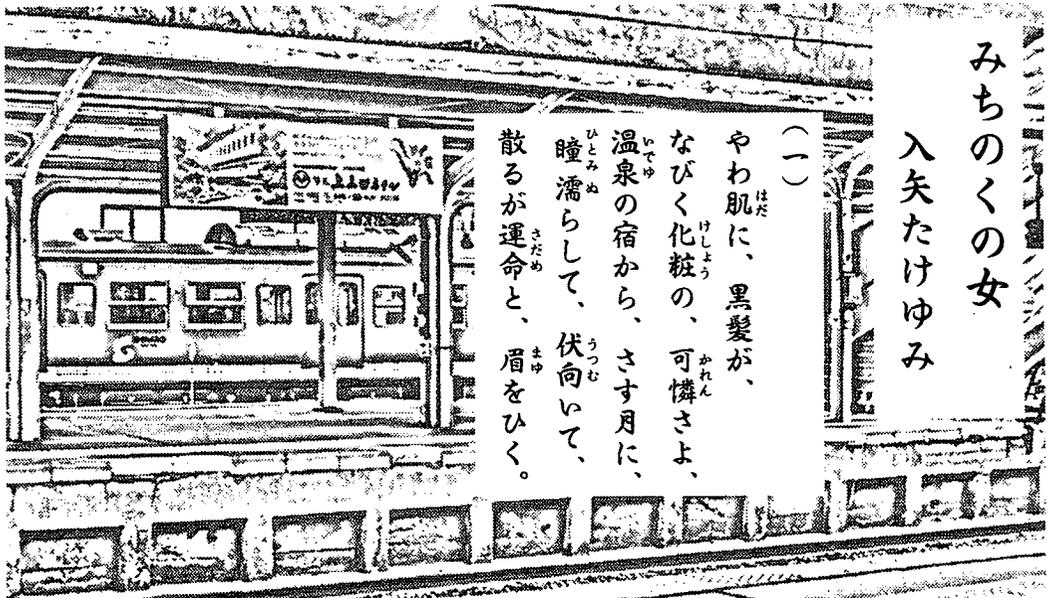


(三)

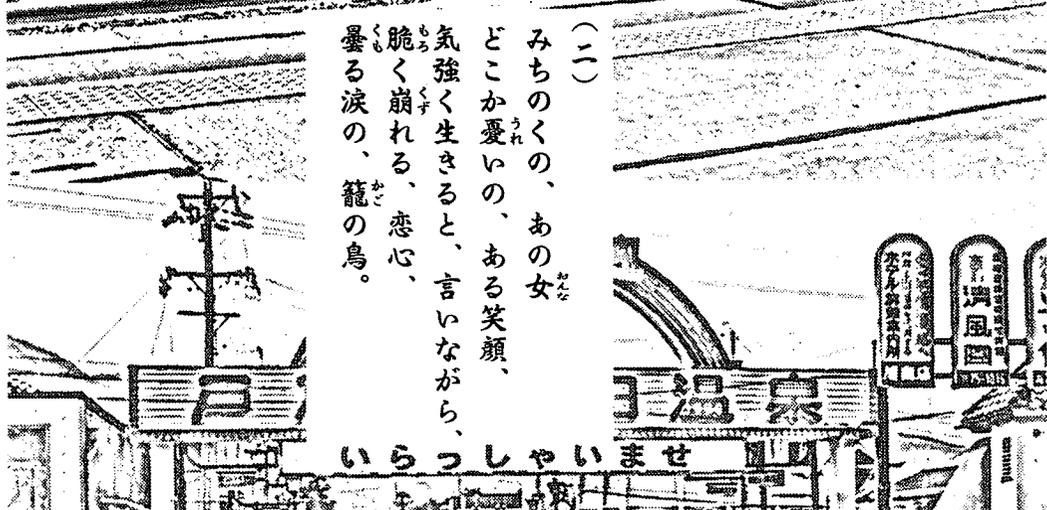
暗い恋だと、諦めて、
心譲らぬ、この俺に、
涙を呉れた、人がいる、
今は病気の、わびしさに、
昔を語り、恋に泣く、
しのぶと、いう女。

みちのくの女

入矢たけゆみ

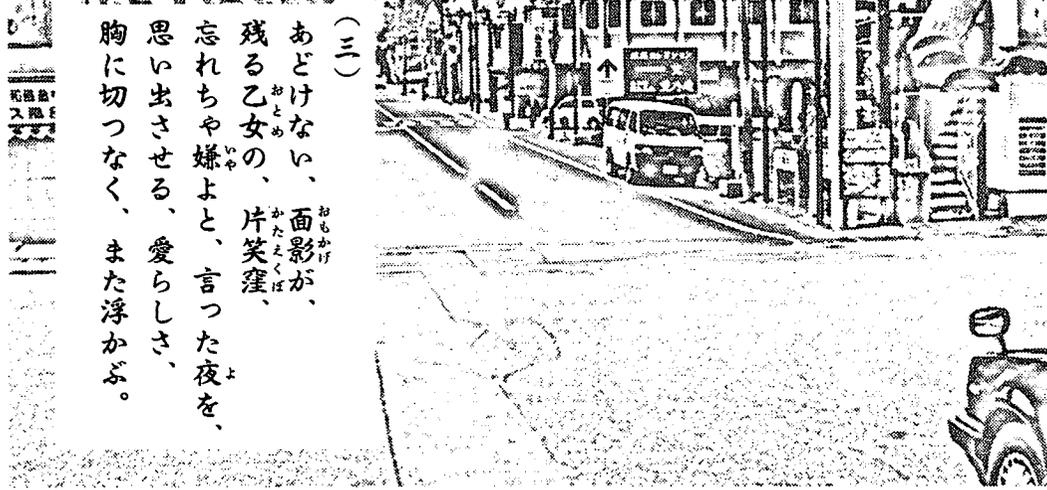


(一)
やわ肌はだに、黒髪が、
なびく化粧けしやうの、可憐かれんさよ、
温泉いそゆの宿から、さす月に、
瞳ひとみ濡ぬらして、伏向うつむいて、
散るさだめが運命と、眉まゆをひく。



(二)
みちのくの、あの女おんな、
どこか憂うれいの、ある笑顔、
氣強きづく生うきると、言いいながら、
脆もろく崩くずれる、恋心、
曇くもる涙の、籠かごの鳥。

いらっしやいませ



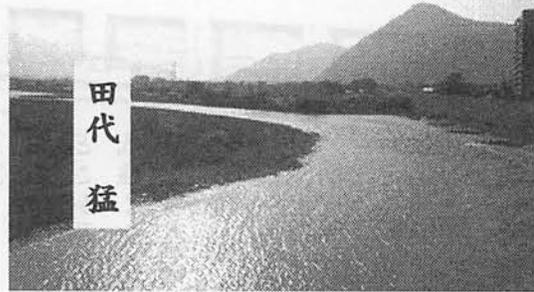
(三)
あどけない、面影おもかげが、
残のこる乙女おとめの、片笑かたえ窪ぼ、
忘れちや嫌いやよと、言いつた夜を、
思おもい出ださせる、愛あいらしさ、
胸むねに切きつなく、また浮うかぶ。

あなたの心の中に映る
「たいせつなこと」

は何ですか？

我が心の日々の

断片、断片



荒野渺茫

私の心の中に、日本のいまは、見渡す限り荒野と映っているのです。けれども荒野のどこかに微かな光りを見たいと、期しています。天から降る火魂の下をにげまた人間の「個」の一人として、又「類」の一人として、私の心に去来する日々の思ひです。

冬の氷雨は、首筋が冷たい。傘を傾けながら歩く裏通りの傍らの植え込みに「沈丁花」の蕾み優しく、美しい。

蕾みよ、風雨に耐えて優しく咲いて下さいと、ふと心にそんな思ひが心をよぎります。そんな或る日、冬の雨の一日でした。

一、冬、紅葉静かに静かに、一葉、また一葉。

一、私が、もう一人ある冬の帰りのバス。

一、失業の友がもう一人ある冬の夜の帰りのバス。

一、失業の友がふらりと訪れ来て力になれぬ我が言葉悲し。

一、戦後の女性史をこの人に賭けて夢ありき、土井さん（前社民党首）去り改憲論高まる。

一、半世紀以上余り生きて抱く思ひの政治届きたるなし。

一、沈鬱な心、言葉したくない日、忘れ記に一言、「こんな日もあると」。

一、ポストえ、さっと入れたり「露宿」投稿文音もよか、よか、辺り、さわ、さわ。

一、こんなにも小さき我にこんな大きな影ありて初冬落日。

一、黄に染まる落ち葉の道の果てにある我の寂しき影。

一、貧しきは、貧しきなりの気がかりに、残り金を、

- 心する月末近くの日々。
- 一、雨の手に掬う冬の日さら、さらと生命線よりこぼれてやまず。
 - 一、絶望はしないと決めた朝なり先ず鏡でじっと顔を見つめる。
 - 一、支えあって生きるのが「人」寂しさが心さいなむ「社会」。
 - 一、シクラメン開きすぎても、今朝蕃昭和は閉じず、イラクでも人死す。
 - 一、小さき頬に肩に眠らす女性の髪やわらかく、冬日に光る。
 - 一、イラクにて、散りし命と知る朝の雨に問うてみる「どうしてと」。
 - 一、闘志あり日向ぼこりしてゐても、この老兵の我。
 - 一、私の居室に射し込んで来たる冬日ありがたし。
 - 一、いたどりの枯れ木となって風に立つ残せし生命我が政治信条に。
 - 一、いっばいに、いっばいに、日を吸ひしシクラメンの白き鉢
 - 一、山茶花の散りつつ、盛り迎えけり、厳冬の日々。
 - 一、生きてゐること嬉しと思ふときありて、テレビドラマに涙する我。

- 一、真つすぐに蹴ったつもりが、カーブして、また消えていく心の小石。
- 一、貴方から頂いた、文の最後のしおりに「さようなら」「さようなら」の文字を口紅で記してゐましたら、そうしたら、そうしたら、口紅が「折れました」「折れました」と書いてありました。そんな過ぎ去りし帰えらぬ帰えらぬ青春…。
- 一、古いシミのついた文を見ながら、回想と、想出にふける老い逝く今日の夕べのひとときでした。日本映画の名監督、巨匠、小津安二郎さんは、こう語る。
- 一、「みなさんは今年一年で何回泣きましたか。その泣には、どんな理由があったり、なかったりしましたか。心は身体と同じでいつも動かしていませんとすぐ、かちかちに硬くなってしまふ。涙には、人の心を人の心をストレッチするやわらかな力があるのですと。」
- 一、僕の心に最後迄にしまっていた言葉を捧げたい。捧げたい。この社会の現実の不条理のシステムに……と。

新宿連絡会越年越冬闘争、新宿公園にて激励の帰りに

2004年1月2日

無題

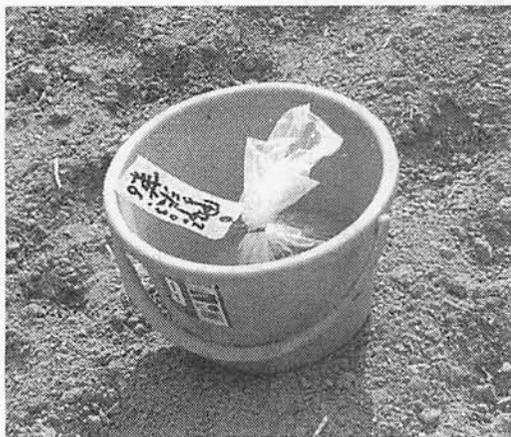
田代 猛

連絡会の有志の人より年賀状来る。文中に「新宿で年越しも十四目になりました。感慨ひとしおです」と記してありました。私は心の中におぼえました。一分は六十秒、六十分は一時間、二四時間は一日、一ヶ月は三十日、一年は三六五日、十年は……と。一口に十年と云ひますが、それは、それは、苦難と、多難な道だったと思ひます。多くの路上に生きる人、人が理屈や理論をぬきにして現実的に生きる人、人に、力と生きる生命を與えられたことでせう。私もその一人です。私の今日の生活は連絡会無しにしては有りません。これは偽らざる心の言葉です。私は常に思ひ考えます。政治や行政は一体、一体、何を考え、何を致して来たのでせうか……と。八割やってもかんじんの二割を致せねば何にもなりません。立派な美しい家が建てられてもかんじんの二割がしっかりしなければ美しい家は砂上の楼閣となるでせう……。文面を見ながら連絡会への感謝と政治、行政への怒りが交錯致して複雑な心境です。私は戦前、戦中、戦後と生きて来ました。戦争で（原爆）や多くの若き友人を戦争で亡くしました。

そして自らも死と幾度も直面致して来ました。齢七十七になりました。そして、連絡会とNPO法人もやいと人生の最後の近くに交わることになりました。私は私なりに逆境に生き抜いた私なりの強さを微力ながら弱き者の人、人に仲間として友人として、共に、共に、生きて行こうと考えててゐます。……。年賀状に目を通しながら思ひを記す。

3月春の陽光、照らし、野道のタンポポが小さく咲き香る日に「露宿」二十九号でお会い致しませう。嚴冬の日々を心新たに頑張らませう。

2004年1月8日記す



無題

宗春

新しい年を迎えて、年と共に生きる我が身に新たな決意はないけれどもこれからの人生を考えると心残りがあることは確かだ。

されど我が存在理由で悩むということは、存在している苦痛な叫びでもある気がする。

もし先が見えたら人生がないのです。

この苦難な世の中に何を意味するものを人生から奪われてしまうことは、何も無いと等しい。

去年の暮れから風邪気味で新しい年が明けるまで体の調子が今一つで歯車がかみ合うことなく、どうしようかと迷ってばかりいた。

ふっと振り返れば、私の生き方があるんだ、もっと話を戻すと、仕事もなく失業の身で盛り場から少し離れている公園の片隅で何をするともなく過ごす毎日があった。

池袋の街を一人歩いた時、甘い音楽が流れて来た。そんな時、無性に誰か理解出来る友達が欲しいと思っ

たのは確かだ。

一人淋しく公園への歩みを運ぶ我が身を白い目で見る人が居るのがなんとなく気になった。やるせない気持で一杯だった。

でも、これからの人生、もう遅いかも知れないが、もう一度人生をやり直したい。仲間の元に足を運ぶ。自分がさざかった職業を生かして。

「2004年 一月一日」

きょ年はありますがとうございました。また今年わきっといいお年ですね。おくれながら、2004年のしゅんしよの、スタートですな。

一月一日は一年の出発です。また二年もろじゅくを、おうえんします。平成15年でわ、いらく自衛隊派遣もんだいもありました。

みなさまのごけんこうとごたふくをいのってます。

平成15年12月10日

kより

地獄のラブレター

「人を食ったやつ」

作・金七



地獄のラブレター

「まほう使いの弟子」

作・金七



歌集

マルキ舟

望月大成



じんわりと迫る本番 アルカイダ

両国橋に

サリンまく日は

今ぞ知れ 尊師の預言 大当り

ハラマゲドンは

アラブよりくる

慢心の小泉総理 隙があり

サリン一発

首相官邸

戦争でリストラ人口 八千万

これもびつたし

尊師預言は

第二弾 北のコリアがとどめ刺し

ノストラダムス

落ちる火の玉

一年前 予告ずみにも手は打たず

とうに手遅れ

日本火だるま

テロリスト

マンモス城 サリン落しは如何する

二十四時間

ポリ公見張は

大成

交代時 表の口はスカランポ

さっと仕掛けて

後一目散

乙姫

いつなるぞ アラブゲリラが大暴れ

江戸も浪速も

死者がわんさか

大成

すぐにでもサリンまきたし 殺したし

じっと我慢は

機の熟すまで

事あらばときのお背なで北の旅

ノースコリアは

ふる里の国

元刑事

おいそれと受けてはくれず コリアとて

①の前科

とんだお荷物

馬子

時効前 事露見でも逃げ場あり

御隠居様は

格子戸の部屋

大成

時効明け 二〇〇八年 北京にて

オリンピックの

開催の年

乙姫

おもしろきは職務怠慢 分限で

忍者三上が

首になる年

大成

時効までラストスパート 後四年

追手は三上

逃げは大成

元刑事

三上では四年はもたず 後二年

忍者交代

ノーなしは首

大成

御前様 左うちわの時効待ち

慌てず騒がず

大げさにせず

馬子

お手柄はいつもスー、すつば抜け

慌てる乞食

忍者三上は

事変から十と一年 風化して

たんぼと一輪

惨劇の跡

夏草は去にし日の夢 平成の

松尾芭蕉は

青芝の上

大成がおいで、のおからかい

ノーなし三上

手も足も出ず

ポケサツにバチリ痛い目 今我慢

時効明ければ

怖い物なし

三上殿 もたゝすれば時効明け

人のことより

御自分の首

乙姫

駈けつくら 兔か亀か さて、どちら

兔の三上

亀の大成

大成

のろまでも時効明けして亀の勝

兔の三上

迷子うろちよろ

×××××師

オウムには全部お揃い 残念は

歯医者一人が

いまだ成り手が

大成

セーシン科 あれば最高 万事よし

おつむ直しは

ヨガの修業で

主治医なる桜井ハカセ 今は亡く

大成が頼り

オウム医者だけ

願わくば精神カンテでアオイサン

自由の天地

ふる里の町

乙姫

ホントならセンセ今頃 塀の中

ボケなす三上

何をもたゝ

大成

ヒント見せ おいでゝの手招きも

いたちごっこは

餓鬼のお遊び

鍋の蓋

センセーの落ちつく先はアオイサン

ムシヨは行かずも

格子戸の中

大成

ひよつとしてスイス行きやも 大使館

大便宿舎で

余生のうゝ

覚悟あれ 時効明ければひと暮れ

三上一人の

ことですませず

時効前 三上の知恵じゃとても無理

弟子も子分も

おつむ悪過ぎ

時効前 今は自重も四年先

三上と対決

天下分け目は

浅警

行くゝは上裕越えて正大使

君の人格

いつか世に容れ

大成

お言葉は嬉しく拝聴 されど年

七十路の爺じゃ

ゴールまで無理

乙姫

一ツ家でセンセが何と分会長

前代未聞

天地鳴動

馬子

浅警のデカの話はホントやも

次なる狙い

会長の椅子

馬子

足立ではオウム転入 禁止の区

今じゃのうゝ

自治会の役

大成

もう遅し オウム出てけは効果なし

団地周辺

知らぬ人なし

大成

この夏は新曲一発 ぶちかまし

一ツ家音頭

大成の作

乙姫

ひよっとして芸能界へ返り咲き

歌も続く

大ヒットして

鍋の蓋

オッドロキ 分会長がテロリスト

麻原復権

無理からぬやも

馬子

センサーは悪くはあらず 取巻きの

やくざ、桜田

これこそがダニ

馬子

センサーが団地自治会 分会長

忍者連中

如何するやも

元刑事

大弱り 生かし殺すもきめ手なし

喧々諤々

今、協議中

大成

アラブテロ 一ツ家だけはお骨抜き

大成あらば

こ、は別天

元刑事

危うきはサツと通、金ノ字の

片割れ一匹

号棟の一

元刑事

本出しは慌てるならず 身の危険

心得るべし

今、時効前

大成

慌てれば貰い少なし 分るにも

先長からず

明けて七十路は

大成

ひよっとして時効くる前 あの世行き

七十路の爺に

神のお迎え

乙姫

大丈夫 センセの命 百までも

時効明けても

まだ、の先

分会長 やくざ屋さんの監視つき

金の字一家

サツの下請け

大成

書面にて区長に直訴 返事なし

オウム帰りの

馬かとも見て

住民

目安箱 役にた、ずの見本かな

区長職とて

権力の椅子

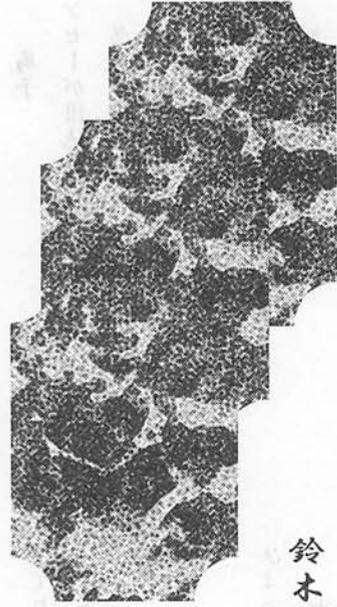
スパイならゾルゲ級とはいわねども

もちよつとましな

お利口な奴

新春・三句!!

鈴木城頭土



天 庭の松 雪の折鶴 初日の出!!
 地 冬の夜半 耳鳴り 大地の子守り唄!!
 人、生きて最後に悟る 永遠命!!

☆有名作家・筆名ハメ込み和歌!!

〔推理作家の女王!! (故) 山村美沙 (女史)〕

◎山奥の花散る村に誰ぞ棲む

鬼女か美女かは 沙蛇鹿ならねど。

〔三島由紀夫氏〕

◎雪の宿、男芸者の緋縮緬、

三島女部屋とは知らじ、あなをかし!!

〔川端康成氏〕

◎川端は問うぞ 後世、推理ファンに

ガス自殺とノーベル賞の関連解明を!!

〔太宰治氏〕

◎太宰府に残る古代の色香あり

陰謀政治：渦まく今昔!!

〔大江健三郎氏〕

◎大江山、鬼は消えたが今、誰ぞ棲む

健三郎とか云う名の大天物法王棲むとかや

〔樋口一葉女史〕

◎時代替れば礼変わる貧乏：一葉!!

死して金指顔(近視眼!!)：日(樋)本のガマ口の広告塔!!

平成・後期・突入・初感!!

ジキル&ハイド (作)

◎冬の朝、歩みの、遅(呪)い平成蟹!! (アル・カポネ) 作

◎秋風や、路傍の石は 螢：墓!! (ジキル&ハイド) 作

(注：ろのいを213と並べ変えると：のろい!!

呪い!! となります)

螢は源氏螢より源氏を暗示しています)

右記の二句で源氏呪句が完成!!

再生・平家軍団がジキルかハイドか?

再生・源氏軍団がジキルかハイドか?

今年からイヨ、再生源平合戦!!は面白くなりますネ!!
ジキルとハイド||紅白・白黒・陰陽||にスパツと割り切つて:
判断すると非常に分かり易いのですが:

現実的には仲々そう数学的に割り切れぬ:処:が近・未来に於て
複雑怪奇な現象:続出と云う結果を:生み出す事になるのによ
う。前世?に於いて源平を程良く操作して漁夫の利を食つた:後
白河法王の再生人間の分身分霊・人柱:を自称する私としては源
平のどちら:にも加担せぬ積りですが、どうなりますやら?

平成・後期以降は当然、再生・源氏軍団が強烈勢力になります
から好戦的な改憲論から再軍備へと:、戦前とは異質な民主的軍
隊、志願兵制度等々が誕生する事でしょうし、源氏白旗・民主的
:民族的・日本教||神道軍団が発生し、仏魔であるS学会やその
手先・子分軍団のK党が現代の壇の浦で:完全沈没!!完全解体!!
等々の最大の危機に:晒される筈です。

どう云う風に現代の巨大・宗教・商事KK||仏魔道種族が壊滅
するのか?やはり宗教法人に一般法人税を同等の税金を:課税す
る税法改正が基本になるでしょう。

税法が改正されなかった場合は?

無限地獄・的麻薬である醜狂||宗教団体や教祖||狂姐等はそう
云う狂信的大麻薬を完全吸引し、ヤク中になり自動的に解体、自
滅するでしょう。

現代に於いては人畜無害の程良い弱小・団体、微弱なお飾りの
お山の大将:が、醜狂||宗教や狂姐||教祖の分相応:と云うもの
です。常識ですね!!

民主的民族的日本教的:神道軍団も勿論||宗教的||醜狂的で
すが、戦前の国家神道とは全く異質な自然・心道と云う意味で
す故、誤解なきよう一筆、書き添えます。

毒を以つて毒を制す!!を現実化する訳!!

どうしても神道と云う単語を使用すると、左翼風に曲解され
て:しまうのですが:現代のように余りにも巨大化した仏教を
利用した邪宗・邪教の仏魔狂信徒族は:666||仏魔独裁日本
国家:の誕生に完全連結:致しますので、このようなアクシヨ
ンは:絶対に阻止!!完全阻止!!せねばなりません。現代の
右翼軍団も左翼軍団も、この趣旨には:双手で100%賛成な
筈です!!

自称(公称)・信者が1000万人!!同・入党者が数百万人!!

まあ実態は信者数百万人、入党者約十万人程度で、後はペー
パー水増し:でしょうが恐る:べき狂信・怪物集団ですよ!!
S学会とK党は!!しかし、彼等の絶頂期は賞味期限切れ!!です
から、自然・衰微絶滅へ自動的に降下棄投し喪家瓦解!!

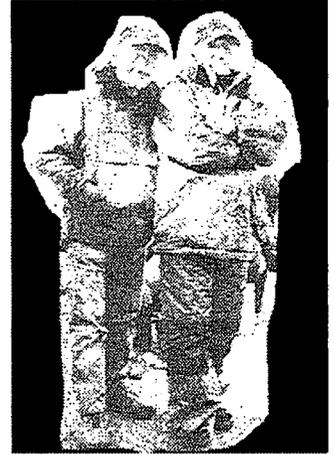
高名党も無色無名の降冥透!!となるでしょう!!

平成後期の最大のメイン・イヴェントは:巨大醜狂・商事K
K・軍団と醜狂政治屋軍団が自滅し自死する最高のサーカス興
業(666日間の)となるでしょう!!

現世利益がゼロどころかマイナス(△666)になれば脱会
者や脱党者が続出し、入信入党者は限りなく○に近づく筈です
から。

今日一日

只野醉私



酒よ!!

今日一日だけ ほのぼのと

今日一日だけ 恋となつて

今日一日だけ 愛となつて

酒よ!!

今日一日だけ 泣いていたい

今日一日だけ 笑っていたい

今日一日だけ 生かされていたい

酒よ!!

今日一日だけ 忘れよう

今日一日だけ 飲まないよ

今日一日だけ さようなら

酒よ!!

今日一日だけで いいんだよ

酒よ!! 酒よ!! 酒よ!!

あなたとは 永遠にお別れです。

さようなら.....

今日一日を省みて.....

今日一日 高慢ではなかつたらうか

今日一日 貪欲ではなかつたらうか

今日一日 好色ではなかつたらうか

今日一日 怒らなかつたらうか

今日一日 飽食ではなかつたらうか

今日一日 嫉妬はしなかつたらうか

今日一日 怠惰ではなかつたらうか

今日一日 行動はしたか

今日一日 努力はしたか

○△□ ○△□ ○△□

朝6時に目が醒めた

顔を洗った

歯を磨いた

トイレに行った

朝食は山崎のダブルソフト二枚にマーガリンを塗って、ペーコ

ンエッグと少しの野菜200ミリリッターのコーヒー牛乳

仕事が始った 手始めに8km歩いた

昼食はエスビー食品の100%もち米赤飯200gと少しのお

かず ミルクコーヒー250ミリリッター

仕事だから 8km歩いて 歩きの仕事は終り

都営大江戸線で帰路に

会社で交通費を精算して

明日の仕事の準備をして
 仕事の引継ぎをして
 たたみ6枚だけの部屋に帰る
 夕食はみやぎひとめばれ100%のごはん
 シェフのカレー
 ロダン手作りの大根とキューリの漬物
 ミニトマト8ヶ ミカン2ヶ 牛乳400ミリリッター
 あとはAAMIーティン
 新大久保駅を起点にしているから
 池袋で乗り替えて……会場に。
 気持だけの献金を
 コーヒーをいただいて
 ミーティングで少しだけお話を
 して
 20時30分 小さなお祈り
 仲間に
 またお逢いしましょうと
 別れ
 都営大江戸線東新宿駅で降り
 職安通りの赤札堂で
 1リッターのミルク
 コーヒー
 1リッターの牛乳
 残り物だから 半額の
 エビのフライ、イカの
 フライ
 6ヶ入り
 レーズン
 バター
 パン 白菜の漬物
 チェリートマト 6ヶ
 入り
 シュー
 クリームを買った
 トコトコ歩いて5分
 ほどで部屋に着く
 着替えて、すぐにお
 風呂に行った
 今日一日 24km歩いた
 疲れを取る

2004年 新秋津G 新春恒例 高尾山ハイキング フェローシップ

高尾の豊かな自然の中を、頂上を目指して一歩一歩
足元を確かめながら、歩いてみませんか！

…………… プログラム ……………

【日 期】 2004年1月4日 (日) 午前10時～午後3時終電
(歩行時間約3時間・雨天中止)

【集 合】 京王線「高尾山口駅」改札口前 広瀬付近に午前10時集合
* 参考

<p>【JR東線】 高尾山口</p> <p>①8:50発 9:37着 ②9:10発 9:57着</p>	<p>……………</p> <p>【JR中央線】 高尾 → 【JR東線】 高尾山口</p> <p>9:54発 9:37着 9:47発 9:50着</p> <p>……………</p> <p>【JR中央線】 高尾 → 【JR東線】 高尾山口</p> <p>西武分号 9:07発 9:30着 9:34発 9:37着</p>
---	--

【持っていく物】 弁当・飲料・タオル *高尾山口、高尾山内では食べ物はあまり売っていません。

【注 意 事 項】 途中急な上り下りや滑りやすい所があるので、できるかハイキングに適した服装をきて下さい。又、急な天候の変化や汗をかいた場合に備えて、服装や履物のチェックなどを行われる事をお願い致します。

* 上り (高尾山コース・歩行時間 約1.5時間)			
高尾山口	10:10発	高尾山登山口	11:10発
(トイ)		小休止・(トイ)	高尾山12峰
			「高尾山ヒッパターセンター」 飯沼合
			飯沼・自己責任で(トイ)
* 下り (4号線&1号線・歩行時間 約1.5時間)			
		(4号線)	(1号線)
高尾山	午後1:00発	登山口	2:30着
		高尾山口	終電3時
		飯沼駅(7・(トイ)・お土産所)	

* 各駅間については進行上、多少のずれがあるかも知れませんので、予めご了承下さい。

シュークリームを頬張りながら日記をつづる
 そして 今日一日に感謝・就眠……。
 こんな今日一日……だった。

××× ××× ××× ××× ××× ×××

2004年 高尾山登山 (別紙)

昨年11月30日に予定していた高尾山登山は雨のため延期となつて、12月7日に実行されたとの事であった。残念ながら、

ロダンは予定が組まれていて参加がかなわなかった。

年末年始は天気予報が気になり続けた。4日の天気予報はいつも晴れていた。おかげで、この年末年始は心も晴ればれで過ごした。

2004年に改まった。

元旦、世田谷区にある病院メッセージ。

2日、聖蹟桜ヶ丘にある病院メッセージ。と、04年のロダンのAA活動はメッセージから始った。

3日、夜のAAミーティングが終って、東新宿駅にたどり着いたのが21時15分だった。高尾山登山の弁当を作るため、いつも利用している赤札堂に寄った。

あじのフライ、鮭のフライ、チェリートマト、レタス、赤飯と山菜おこわご飯、のどあめ二袋にラムネ菓子一袋、ミルクコーヒーとウーロン茶、お弁当にするには赤飯とおこわに決まっている。冷たくなってもおいしいからだ。レンジ2分で出来上がる。漬物はキューリと大根となすを手作りしてあるから、それを持って行けばいい。

22時帰宅。すぐにお風呂に行った。

23時就眠……。

4日、5時に目が醒めた。すぐにご飯をチンした。温かいまま包装するのはよくないともう二年以上になる弁当作りで良く知っている。

見た目にも楽しくなる弁当作りを心掛けています。まあまあの上上がりかなあと思った。

8時20分部屋を出た。JR新大久保駅から新宿へ。8時40

分発京王八王子行き特急に乗って、高幡不動で高尾山口行き各駅に乗り替えた。予想どおり、北野駅で多くの仲間が乗り込んできた。さっそく席を立って挨拶を交した。新年初めての出逢いだから、当然「あけましておめでとうございます。本年もよろしく。」となる。どの顔も笑顔だ。

まもなく、高尾山口駅に着いた。すぐに帰りの切符を買った。参加者は予想をはるかに越えて、36名を数えた。出発前に記念写真。

今日で第3回になるのだが、3回とも参加してきた仲間が10名もいる。女性のメンバーでは、新秋津の仲間がひとり頑張っている。

このフェローシップに参加できれば必ず逢えると信じている仲間がいて、特に打ち合わせすることもなく、今年も逢うことが出来た。

そこで思うのは、一年間飲まずに過ごすことが出来た証明あかしだなあと……。

10時5分、72本の足は高尾山頂へと目指した。

たか高尾 たかだか高尾 高尾山

たかだか高尾か されど高尾か

コースは稲荷山コース（別紙）。山登り好き派におすすりめだ。清滝駅の左手にある階段を登っていく。いきなりの難所だ。途中、階段、岩石があり、木の根が出ていたりで足元要注意。

40分程歩くと、急な階段があり、登り切ると、あずま屋のト

イレがある。しばし休息。天気が良くて、樹木の間から八王子、多摩、都心まで見事な展望がこれ見よがしと開けていた。

酒なくも、高尾の峰に 酔いしれて

仲間ともの足どり 我れの足どり

昨年6月27日に11時間におよぶ開腹手術をした。6ヶ月を過ぎたばかりだ。少し心配していたが、無事に、何事もなくここまでたどり着くことが出来た。多くの仲間と一緒にだからだと思う。いつも仲間を支えられている。

今日一日 飲まずに生きる 高尾山

仲間ともと登ろう 仲間ともと歩もう

お酒を止めつづけることは至難の技だ。ひとりですめることはとても無理だと理解している。酒が止まってこの四月で四年になる。AAの内では色々あった。嫌になる事もあった。とにかく「病氣なんだから」ということで、許容する心を広大させることが出来た。AAミーティングに通いつづけられさえすれば、お酒は止ってくれるのだ。今日一日、お酒を飲む飲まないは、神のみぞ知るだ。

去年は、前日雪が降ったから歩くのは大変

山登り大好き派におすすめ

稲荷山

コース

都心まで見渡せる! 気分爽快
見晴しのいい尾根を行こう!!

がんばって約200段の階段を上ろう。

75号路へ WC 高尾山599m

11号路へ

ベンチのある広場だよ。お弁当タイムにびったりだね。

ムササキシキブはこのあたりで見よう!

ガマズミの赤く熟した実は、野鳥の好物。甘酸っぱいんだって!

ミツバアケビ
実が熟すと、タテに割れる。小さな葉が3枚で1組になっているからミツバアケビ。普通のアケビは5枚で1組だよ。

稲荷神社

6号路へ WC 清瀬駅

ここが登り口。清瀬駅の左手にある階段を上っていく。

3.1km

上り.....90分
下り.....70分
健脚度.....

急な階段を上ると、あずまやとトイレがあるぞ。天気が良ければ、樹木の間から八王子や多摩、都心まで見渡せるよ。

階段や岩石あり! 木の根が出てたり、足元要注意

秋は、実が熟したミツバアケビに出会えるかも。

ムササキシキブ
名前の由来はもちろん、あの「源氏物語」の作者・紫式部。

日当たりの良い場所をチェック! リンドウの花が見られるよ。

コナラの大木が...ドングリ拾いできるかな?

リンドウ

だった。とにかく寒かった。今年は登る途中、ジャンパーを脱いでしまった。頂上にたどり着いて、新たに4名の仲間に出逢った。まもなく頂上という直前、急な階段を200段登り、右に進むと山頂。ヤッター...ののだ。

思えば、開腹手術6ヶ月にして、高尾の山の頂上にたどり着いた。退院直後から歩くことを心掛けた。生かされている素晴らしさを今日もいただけた。感謝、...、...

××× ××× ××× ×××

〈露宿28号のつづき部分の始まりです〉

幻覚と幻聴、それは悪夢としかいいようがない。実体のない何か
がロダンを支配している。意志も自覚もないのだ。

だんだん恐怖が襲ってきた。たしか、21時ごろだった。点滴
が終ったので、ナースコールでその事を知らせた。看護婦さんが
すぐに飛んできてくれた。私には、小人たちや、凶器や幻聴の事
があったので、看護婦さんが何事もなく、いつも通りに針を抜い
たり、点滴の用具を片付けているのが不思議だった。

「ひとりであるのが怖いのです。しばらくここにいて下さい。」
と、看護婦さんにお願ひした。

彼女は不思議そうな顔をして、小首をかしげながら、

「15分位ならいてあげられるワ。」

と、いつて、私の身体の調子等を聞いてくれた。

私は、幻覚、幻聴とは思ってもいらないから看護婦さんに

「何か変わった事はないですか、誰か他人ひとがいませんか。」

と、聞いてみた。

首を振りふり、笑いながら

「何ありませんよ。今、ここにいるのは貴方と私だけです。」

と、いつて

「そろそろ、私はナースセンターに戻りますから、何かあった

ら呼んで下さい。」

と、いつて出て行った。

相変らず、幻覚、幻聴はひどくなり、凶器が飛び交い、小びと
たちが叫び、もう殺されるとの思いが一杯になってきた。とうと
う、どうにも我慢が出来ず、頭をかかえて部屋を飛び出してしま
った。

とりあえずエレベーターに乗った。とにかく外へ逃げ出そうと
思い一階へ行った。ドアが開くと、なんとそこには小人が数人い
て、

「逃がすものか。さっさと金を出せ!!」
と、いつてきた。

あわてて、ドアを閉め、エレベーターの表示に六階から別棟に
行ける案内があったので別棟へ向った。

六階のエレベーターホールにも小人たちがたむろしていた。

「逃がすものか、金を出せ!!」

と、口々に叫び、迫って来た。

途方にくれながらも、非常階段があるのに気付いて、とっさに
それを使った。

しかし、いくつかあった非常用出口にも小人たちは待ち伏せし
ていた。

いよいよ追い詰められたと思いながら、ほうほうの手で二階へ
行くとレストラン街があり、広いホールになっていた。幸いにも

小人たちの姿はなく、何とか隠れ場所を探した。

廊下の柱と柱の間に椅子や机が置いてあった。身を隠すのに丁
度良いと思ひ息をこらして身をひそめていた。

やがて、多勢の小びとたちが、私を探している声や、足音が迫
ってきた。

悪魔の声と悪魔の足音が、ひたひたとひたひたと……ひたひた、ひたひたと追いつがってきた。

23時を過ぎたころ、とうとう小人たちに捕まってしまった。

「俺も男だ!! 逃げも隠れもしない!! 親方は何処だ!!」

と、叫び、聞き直って立ち止った。

私を見付けた小人は、携帯電話を使い連絡を取り合い、多くの

小人たちが二階のエレベーターホールに集ってきた。

小びとの親方がきて

「いい物を見せるから、こっちにこい。」

と、いって、私はレストラン街の通路に連れていかれた。

小人たちが集っていて、親方の見事なまでの指揮のもと、ポリ

シヨイサーカスマがいが始った。それはそれは見事な出来栄の

ショーだった。

23時30分ころ、エレベーターが開き、ガードマン二人と看

護婦さん二人が出てきた。

「ロダン、ここで何をしているの? 早く病室に戻って下さい。」

と、いわれた。私を捜していたのだ。

「すいません。友人に連絡を取って、ここで待ち合わせていた

んです。もう用事は済みました。黙って出てしまっして申し訳けあ

りません」

と、しどろもどろになりながらも謝まった。

「困るんです。貴方は外出禁止中なんです。お部屋を出てはい

けません。」

と、厳しく注意された。

小びとたちは、親方の指揮のもと、素晴らしいショーを披露し

ていた。

看護婦さんに連れられて、病室に戻った。当直医から嚴重な注意があった。

目をつぶっても、耳をふさいでも、小びとたちは踊り、金を出せ!!

といっていた。

××× ××× ××× ×××

幻覚幻聴は、この後3、4日つづいた。指令が出て、アパートを壊してしまった。悪魔の声が、

「アパートを壊せ。」

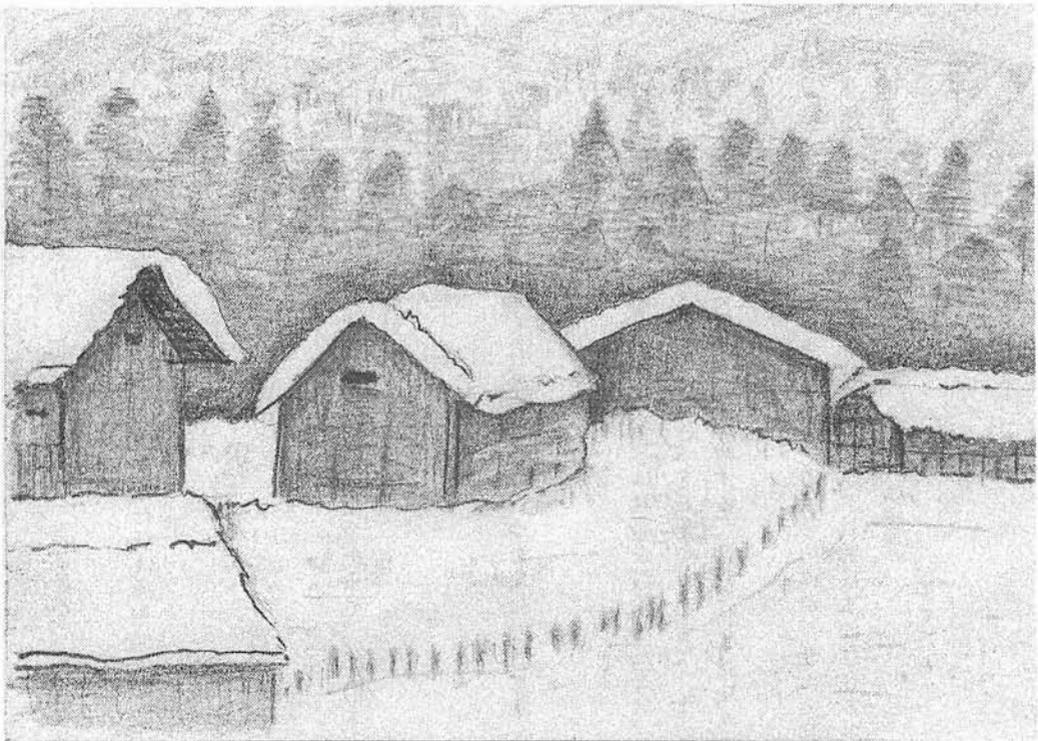
と、命じてきたからだ。

自分の意志ではなく、全く自覚もなく、いつの間にか犯罪者になっっていた。

* 刑法第260条 他人の建造物又は艦船を損壊した者は、5年以下の懲役に処する。よって人を死傷させた者は、傷害の罪と比較して、重い刑により処断する。(建造物等損壊及び同致死傷)

* 刑法第261条 前3条に規定するものほか、他人の物を損壊し、又は傷害した者は、3年以下の懲役又は30万以下の罰金若しくは科料に処する。(器物損壊等)

と、ある。



水道町より

絵を描くスペースが
なくなりましたので想像力
で書きなご下さい...

昔観た映画が何かで心に残っている場面がある。
その主人公は何者かにねらわれていて、部屋を出る時用心の為
ドアのすき間に小さな紙キレをはさんで外出した。戻ってきた時
ドアの鍵は出かけた時のままだが、はさんで
おいたはずの紙キレが床におちていたので留守中に何者
かが侵入したことを知り銃をにぎりしめてドアを開ける...
とかいうもの。ちっぽけな紙キレが人生左右することも
あるんだなあ..とやけに印象に残った。(借用証とか、
婚姻届とか..まあ違う意味で「重い」紙は色々あるけど)

●葉っぱが1枚背中にくっついてたので森で遊んだ
ことがばれる猿 ● 1本の小枝が鍵穴につまんで逃げ
遅れるバイク乗り ● 1滴の水音が命とりになるスパイ
(暗い内容ばかり思い浮かぶ..)

ちっぽけな「何か」..の力はあなとれない。
昨夜雪の中、コートのボタンをおとしてしまった。
もう全くあきらめながら来た道戻っている途中、信じられな
い程低い確率にも関わらず小さなボタンを見つけし
ました..。失ったボタンもみつけただけ。ただそれだけなのに
幸せな気分だった。「あ、これはボタン一つが主人公に幸
せを与える物語だなあ。ボタンもあなとれん!」と、雪の
中一人で考えた。//ちっぽけな私のこんな「独りごと」が
ちびとだけでもあなたの気分転換になれば幸いです。
では風邪にお気をつけて、高橋美香

あか い 花

はり師いが丸

“THE BIG ISSUE (ザ・ビッグ・イシュー)”はKさんのロンドン土産だった。

当時私は会社勤めをしており、ロンドンに駐在していたKさんとは仕事で縁があった。彼の日本出張が近づいた頃、「お土産は何がいいですか？たいへんお世話になっているので、香水でも口紅でもなんでも買ってきます」というせわしないメールが入ってきた。「香水も化粧品も結構ですので、“THE BIG ISSUE (ザ・ビッグ・イシュー)”という雑誌を買ってきていただけませんか。ラジオで聞いて興味を持ったのですが、書店でなく、街中でそれだけ売っている人がいるのだそうです。見つからなければ、無理なさらなくて結構ですが、もしあれば、それをお願いします」と返事をした。

その頃、私の朝はNHKラジオ第一で始まった。ラジオが好きなわけではなかったが、テレビが嫌いだった。流行の歌も派手な効果音も挿入されないラジオのニュースは、朝日の当たらない西側の部屋を明るくするわけではなかったが、朝の静寂を邪魔することもなかった。

6時12分頃から世界の町の話題をふたつ紹介するコーナーがあった。ある日は、ヘルシンキの白夜の話題とウラジオストクでの流行りの商売の話が、現地在住のレポーターによって伝えられた。その日のトピックスは、ウランバートルの祭りの話と、ロンドンのホームレスの人たちの雑誌販売の取組みだった。女性レポーターが快活に喋る。『『ビッグイシュー！ビッグイシュー！』』と言いながら、街中でこの雑誌だけを売っている人がいるんです。これは書店などでは買えないんですよ』その躍動は朝の静けさを破り、耳の中には、音痴の鳥のような「ビッグイシュー」という女の声が焼きついた。

ロンドン何処に住んでいて、普段車で移動するのか、地下鉄に乗るのかバスを使うのか、どれだけ街の中心部に出ることがあるのか私は知らなかったが、Kさんがその雑誌を見つけるのは容易ではなかったようだ。最初は「いやー、みつからなかった」と言って、代わりに紅茶の缶を置いていった。半年後に来たときは「探したんだけど、なかなかないんだよ。どこで売ってるの？」と疲れた顔をしてやはり紅茶を置いていった。さらに半年後には「どこにあるの!?ビッグイシュー!」と顔を見るや否や詰め寄ってきた。「もう気にしないでください」と言ったのだが、Kさんは諦めなかった。

昨秋から、池袋でも「ビッグイシュー・日本版」の販売員を見かけるようになった。緑ののぼりを立てている販売員を駅周辺で見つけるのは難しくない。けれどもロンドンの街を知らない私は、やはりKさんの苦労を想像できずにいる。

「あったよ。ビッグイシュー」と日本のエンジニアがニヤリと笑ったのは1996年2月。その後もしばらく、Kさんからのロンドン土産は紙のにおいのする路上雑誌が続いた。

露宿 創刊の辞

野宿する人々がいに国からも問題視され始めたというのに、この国の貧困はさほど問題視されてもいない。それは、その問題の視点が実は人間にはなく、環境であったり、都市開発の視点にあるからなのだろう。

私たちは、野宿する人々の問題とは、貧しさの問題であると考え、それは、単に失業であるとか、経済的な貧しさだけの問題ではなく、貧乏人が社会から排除させられ、路頭に放り出されるという社会的な貧しさも含まれる。

しかし、野宿する人々に外部から烙印された言葉は、その人間性や個性をことごとく踏みこむものであった。野宿をせざるを得ないというだけで、かくまで人格を否定するのだから、この社会の恐ろしさを一番感じているのは、日々、その恐怖とたたかい路の上で暮らす人々に他ならない。これは同じ人間の問題である、一体誰が考えないのだろうか？ 野宿する人々が問題なのではなく、貧しい人々を作り、貧しい人々が野宿せざるを得ない社会が問題であると誰が考えないのだろうか？

が故、本誌は路上から言葉を発することを目的として創刊される。野宿する人々も同じ人間であることを言葉でもって明らかにすることを目的とする。

路上には個性がある。路上には人格がある。路上には人生がある。それを誰も認めず、野宿する人々が問題だと言うのであれば、我らは自ら言葉を取り戻すしかない。その言葉を発し続けるしかない。路上の文芸とは、その意味ではラディカルであり、挑発であり、悲痛な叫びである。言葉は自らが忘れ去られないための抵抗であり、自我の強力な表現である。言葉の大河を路上に私たちは洪水の如く湧きあがらせたい。

その最初の一滴を私たちはここに提供する。

本誌は貧しい人々に開放された雑誌であり、そのため、路上でのたうちまわり続けるだろう雑誌である。本誌の目的を達するため、多くの路上の表現者、編集者、販売者を私たちは探し求め続けて行きたい。

仲間たち！
言葉を取り戻せ！
荘厳な俺たちの言葉をこの社会に叩きつける！
1999年6月28日
路上総合文芸雑誌「露宿」編集部一同

露宿ペン倶楽部短信

は元気で誌下
今元々の雑
稿さんと仲
原皆連続盛
るの継続が
来者？す
さり投う事
どちよなこ
もがし変非
つれので大
い切のに
途の当の
い本な
さ
座の「北海
敵な挿し絵
の現物を朝
まわれん。を
以ら前にど
ラブレター
まいつでも
次はいよ
て頭張ります

次号30号は5月1日発行予定です。
投稿者の皆さん、原稿締めきりは
4月4日必着にてお願いします！

編集後記

「何も変らぬ新宿も

かの日の記憶は少しづつ消え」

西口ダンボール村火災事故から6年。ひっそりと7回忌を済ませ編集作業。4号街路には昔と同じダンボール。早朝、仕事や暖を求めて移動する姿は何も変らぬ新宿。そこで暮らしていた人々の記憶も薄くなったが死者だけは忘れずにしようと思う。2月の編集は毎年辛い。(か)

Rojuku

定期購読大募集

購読費・スポンサー費
送り先
郵便振替口座
00160-6-190947
「ろじゅく編集室」

この雑誌は、路上生活者の方達が読み書き、表現をする場を提供する為、つくられました。一冊でも多く雑誌を印刷し、路上生活者の方に手渡したいと思い、利益が出れば炊き出しのお米代にしたい為、心苦しい限りですが、多くの方のご理解とご支援をお願い致します。皆さんのお気持ちに届く、熱く丁寧な雑誌づくりを目指します。

「ろじゅく」

[露宿定期購読の御案内]

毎号確実に読者のお手元に届けるために当方では定期購読を承っております。

定期購読8回分 5000円(郵送費込み)

定期購読4回分 2500円(郵送費込み)

一回ごとの購入でも大歓迎。

一冊は送料込みで660円となります。

申し込み方法

郵便振替用紙(00160-6-190947ろじゅく編集室)に定期購読もしくは継続購読とお書きになり、住所、氏名を明記の上送金して下さい(発行ごとに郵送します)。尚、郵便振替の他、切手での受け付けもしております。FAX、メールにても注文承り中。

まとめ買いはお安くなります。

2冊以上は送料無料、5冊2000円、10冊3500円、50冊15000円(いずれも送料込み)となります。

路上文芸総合雑誌「露宿(ROJUKU)」第29号 2004年3月1日発行(隔月刊)

主宰・笠井和明 編集/発行・ろじゅく編集室 〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-32-4-603
TEL/FAX 03-3373-9878/090-3818-3450(笠井)

Eメール・rojuku@d9.dion.ne.jp URL・http://www.d9.dion.ne.jp/~rojuku/

郵便振替口座 00160-6-190947 加入者名「ろじゅく編集室」

販売協力・新宿連絡会、露宿ペン倶楽部 印刷・株式会社ラジオグラフィー

定価500円